

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機関名	大阪大学	整理番号	A02
プログラム名称	超域イノベーション博士課程プログラム		
プログラム責任者	東島 清	プログラムコーディネーター	藤田 喜久雄

(評価決定後公表)

(総括評価)

計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

[コメント]

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、「超域」すなわち特定の分野における高い専門性を基盤として、全体を俯瞰した上でその専門を他の専門と統合して活かしていくことができる独創的な力を身に付けるというコンセプトに意義を見出し、主専攻とプログラムの両立という、時間的、心理的、経済的困難にもかかわらず、本プログラムに参加することに意義を見出した学生がこれに積極的に参加し、自身の成長を実感していることは学位プログラムが着実に構築されていると判断でき、高く評価できる。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、本プログラムに参加することにより多くの学生が多面的見方ができるようになり、そのことによって自分の専門分野の持つ意味をより深く理解するようになり、大きな「知的体力」を得ていることを実感し、これまでとは違ったキャリアパスを選択する学生が出てきていることから、彼らの今後の活躍が期待される。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、座学に加えて大手企業役員等の学外プログラム担当者の指導、海外研修、企業等でのインターンシップなどのほか、トップアスリートが身につけているスキルについて学ぶ合宿などユニークな試みを行っており、中でも実際の社会の問題の解決を試みようとするプロジェクト型演習が自らの成長に大きな効果があることを学生自身に感じさせている点は評価できる。

優秀な学生の獲得については、本プログラムの内容が学生に広く知られるようになった結果、自覚と目的を持った学生が応募するようになった点は評価できる。

世界に通用する確かな質保証システムについては、学生に対するカリキュラム評価アンケート、自己評価、外部評価という多重の評価に基づく、PDCA サイクルの実施により、その内容の改善に努めている点は評価できる。

事業の定着・発展については、本プログラムの理念が全学に浸透している点、そしてその成果を将来の「世界適塾構想」の中に生かしてゆこうとする構想は評価できる。